

編集後記

総合情報センターは、平成 28 年度 4 月に情報戦略部門・教育デザイン部門・教育システム部門・ネットワークシステム部門・情報セキュリティ部門・ユーザーサービス部門の計 6 部門を設置し、センター内部で部門ごとに整理した業務を着実に実行して参りました。平成 29 年度に、情報基盤（教育システム、ネットワークシステム、キャンパス間回線）のシステムリプレイスがあり、平成 30 年度は、初年度の運用の年となりました。巻頭言にもありましたとおり、情報システムの側面ではトラブルには見舞われましたが、ユーザーに対する深刻な影響はなく、情報セキュリティの面では保証できたことが幸いであったと思います。

総合情報センターは、情報基盤の堅牢性を高め、災害や事故に遭遇しても、サービスを維持するという学内向けの体制づくりを基本としておりますが、今年度は、情報基盤の運営を通じて培った知見をオープンにして学外に向けても貢献していくという側面が特徴的であったように思います。今年度の年報から、総合情報センターの改善活動を対外的に発表した成果一覧も掲載しております。今年度は、原著論文 1 本、招待論文 1 本、招待講演 1 回、講演論文 4 本の成果を上げており、職員、学生も含めた非常勤職員、教員が一丸となって取り組んできた実践知が埋め込まれています。大学としても社会に対してプレゼンスを上げていくことにつながっていると思っており、学外との交流という意味も含めて、より定例的なものとして定着していけたらと希望を抱いております。

最後に、本年報をまとめるにあたり関係各位に謝意を表したいと思います。

ユーザーサービス部門 部門長 米谷雄介

